

令和 6 年 4 月 30 日

## 令和 5 年度 イデア IT カレッジ阿蘇 事業報告

学校法人イデア熊本アジア学園

### 1. 学生募集と入学状況

- ・ ホームページ、学生募集専用サイトでの告知、県内の高校、福岡、熊本県の日本語学校への訪問等を行い、学生募集を行い、オープンキャンパスに学生、保護者を迎え入れて、応募につなげていったが、入学者数は伸び悩んだ。

- ・ R6 年 4 月入学の 3 期生 11 人が入学するに至った。

内訳は以下の通りである。

		ITソリューション学科		地域観光デザイン学科		小計	合計
1年生	日本人	3	7	2	4	5	11
	国際学生	4		2		6	

### 2. 卒業生の就職状況

- ・ R5 年 3 月は、学校として初めて卒業生を輩出した。

28 人の卒業生の内訳、就職希望者数 24 人、進学希望者 3 人、その他（自宅）1 人である。

- ・ 就職希望者数 24 人中の 23 人が就職することが出来た。（就職希望者の就職率 96%）。
- ・ 注文式教育企業への就職者が 14 人（就職者数での割合 61%）と提携先の成果があった。
- ・ 熊本県内への就職は 15 人（就職者数での割合 65%）と割合は多かった。
- ・ 1 年生の段階からキャリア教育、キャリアセンターによる就職相談等をきっちりと行うことで、就職意識が高まり 1 年目の結果としては高い数値になったと言える。

### 3. 就職状況注文式教育企業との提携

- ・ 企業の求める人材に応じて、学生への授業の提供やインターンシップの受入れ、最終的に就職に繋げていくことに賛同いただいた企業を「注文式教育企業」として、広く働きかけをして、IT 企業、観光サービス企業を中心に 65 社と提携を行うことができた。  
「業界・起業研究」授業の開催、企業説明会、インターンシップ受入れ等を行った。

### 4. 教育推進

- ・ R6 年 3 月で、入学から卒業までの完成年度となり、教育運営の一サイクルを行えた。  
カリキュラム運営、スムーズな授業開始、安定した学習環境を設けることができた。
- ・ 「IICA 式授業デザイン」で、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科、修業

年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保を行うことができた。

- ・学生に寄添うキャリア・サポートのしくみとして年3回の面談、「ちょっと IICA」という学生相談窓口を立ち上げて運営した。
- ・「キャリアセンター」を稼働し、学生の就職・進学に関するワンストップサポートの仕組みを構築した。冬季インターンシップ開催、企業説明会、面接準備等を行った。

#### 5. 業務推進

- ・安心・安全・快適な就学環境の立ち上げを行い、校内事故ゼロ、警察講習の実施、消防検査等を実施した。
- ・円滑な事業・授業運営を支えるしくみとして、「Google Classroom」によるハイブリッド授業環境とクラウド業務環境の立上げ、BLENDによる出欠・成績学校の整備を行った。
- ・校納金、講師謝金等の入出金運営、奨学金運営、インボイス対応との経理業務を行った。

#### 6. 高大連携の取組み

- ・高校向けに、「オンライン海外研修」「キャリア教育」「IT教育」の出前授業を行い、20校の高校との連携を図ることができた。

#### 7. 文部科学省 「専修学校と業界団体との連携による DX 人材養成プログラム」の2年目を採択され、企業が求める DX 人材養成プログラム（カリキュラム開発・シラバス、教材）の開発、実証授業を8科目実施した。

- ・また、文科省事業「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業」も採択されて、観光業界の IT 活用リカレント教育モデル構築のシラバスを開発した。

#### 8. 学園祭「長陽祭」の開催

- ・R5年10月7日（土）に第2回アイデア IT カレッジ阿蘇『長陽祭』に開催した。村内外から約300人が訪れて、学生企画のイベント、食のマルシェを学生が自ら企画し、当日の運営、後片付けまでを主体的に行い、ゼロからイチを生み出す貴重な機会となった。

#### 9. 教職員の状況

- ・令和5年6月より広報スタッフを1名採用して、校長、副校長、事務長、事務、広報、経理スタッフで常勤7名の体制を整備した。